

SK8-100N 組立説明書

組み立てる前に、必ずお読みください

組立てる前に 説明書をよく読んだ後、順序に従って作業を進めて下さい。

- 梱包数は7梱包です。 ※部品表を見て部材の有無を確認しましょう。
- 半ブロックを16個用意して下さい。 ※本製品には、含まれておりません。
- 半ブロックは、建材店・ホームセンターなどでお求めになります。
- オプション（別売）の柵板・柵柱セットで柵板を増やすことができます。
- 紛失に備えて、鍵の刻印番号を控えておいて下さい。

組立て時のご注意 つぎのことに気を付けて、安全に作業して下さい。

- 部材は全て鋼製ですので、手袋・長袖シャツなど必ず保護具の着用して下さい。 ※部材の角などで、ケガをします。
- お客様ご自身で組立てをされる場合は、安全の為2人以上で行って下さい。 ※1人で無理をすると、部材が倒れたり、落下してケガをします。
- 強風の日には、施工しないで下さい。 ※部材が飛散したり、倒れてケガをします。
- ボルト・ナットは、余分に入っているものがあります。
- **ナット不要** と書いてある箇所はナット無しでもボルトが締まります。 ※逆に **ナット不要** と書いてある箇所ではナットを使用するとナットが不足します。

組立て終了後

- ボルト・金具類の付け忘れやゆるみがないか確認して下さい。 ※強度が弱くなり、強風・雪などで倒壊します。
- 物置の転倒防止のためアンカー工事を必ず行なって下さい。 また、作業終了後すぐに収納物を入れて下さい。 ※強風により転倒します。

設置場所のご注意 つぎのような場所への設置は、しないで下さい。

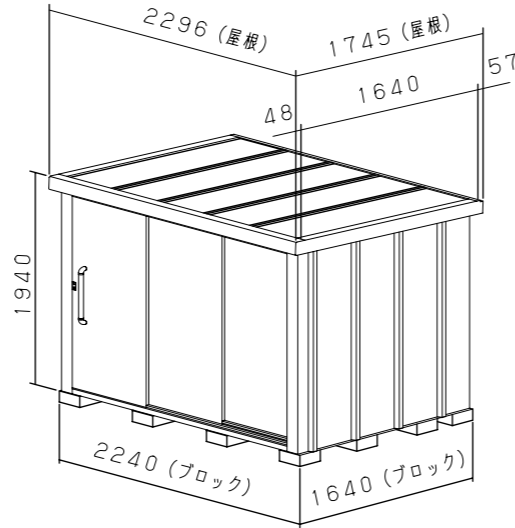
- 家屋などの建造物から雨や雪などが落ちてくる場所。（軒下等） ※物置の変形・破損による漏雨の原因になったり、収納物に被害が出る可能性があります。
- 屋根・屋上・崖の滑りなど、安全の確保ができない場所。 ※強風により、転落・落下の危険があります。
- ベランダ等の避難通路。

部品表

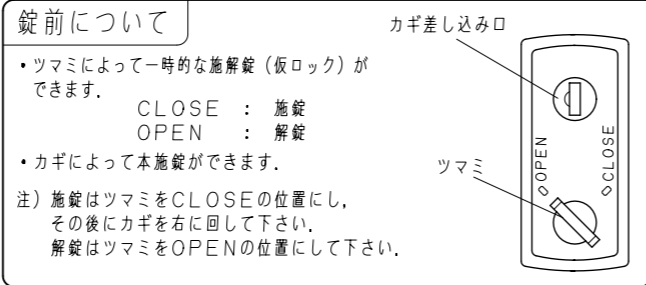
梱包	符号	部品名	数量
共通柱	③	後コーナーパネル	2
	④	前柱 左	1
	⑤	前柱 右	1
100 パネル	⑥	標準パネル	11
土台A-N (一般地)	①-①	土台前 (下レール)	1
	①-⑤	土台前 (前パネル固定)	1
	①-②	土台後	1
	①-④	根太	2
	⑩	後ランマ	1
	⑪	前ランマ	1
	⑭	胴縁後	1
	⑯	鼻隠し後	1
	⑰	鼻隠し前	1
	⑳	前パネル固定	1
	⑤⑩	後ランマカバー	1
		スポンジシール	2
		引手	1
		アンカープレート	4
		部品袋	1

梱包	符号	部品名	数量
土台B-N (一般地)	①-③L	土台横 左	1
	①-③R	土台横 右	1
	⑦-L	横ランマ取付アングル 左	1
	⑦-R	横ランマ取付アングル 右	1
	⑧	横ランマ 左	1
	⑨	横ランマ 右	1
100型 床板	⑮	胴縁横	2
	⑳	屋根押え	4
	㉑	妻板 左	1
	㉒	妻板 右	1
100型 屋根	㉓-①	床板	11
	㉓-②	目地材	1
100 ・ 130 ・ 180 共通扉	㉔	波板	5
	③⑩	前パネルA	1
	③⑪	後扉	1
	③⑫	前扉	1
	③⑬	戸車金具	2
	③⑭	扉ガイド	1
	③⑮	扉ストッパー	2

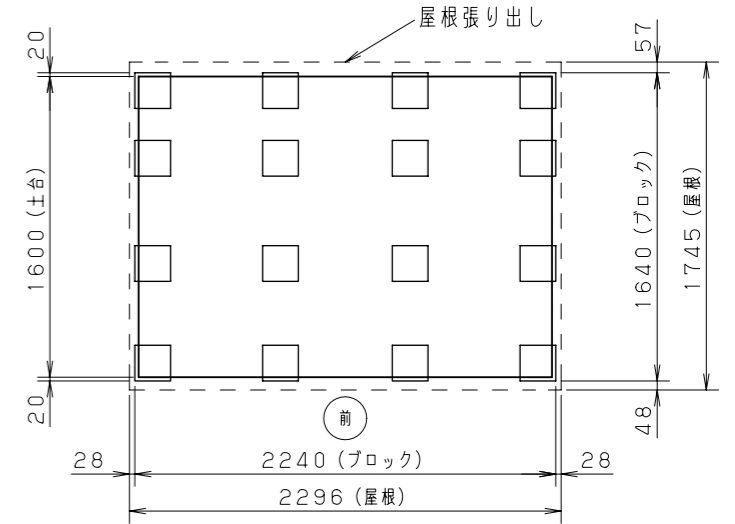
材質
 本体：スチール
 引手：アルミ
 戸車・扉振止め（扉下部）・引手取付具：プラスチック



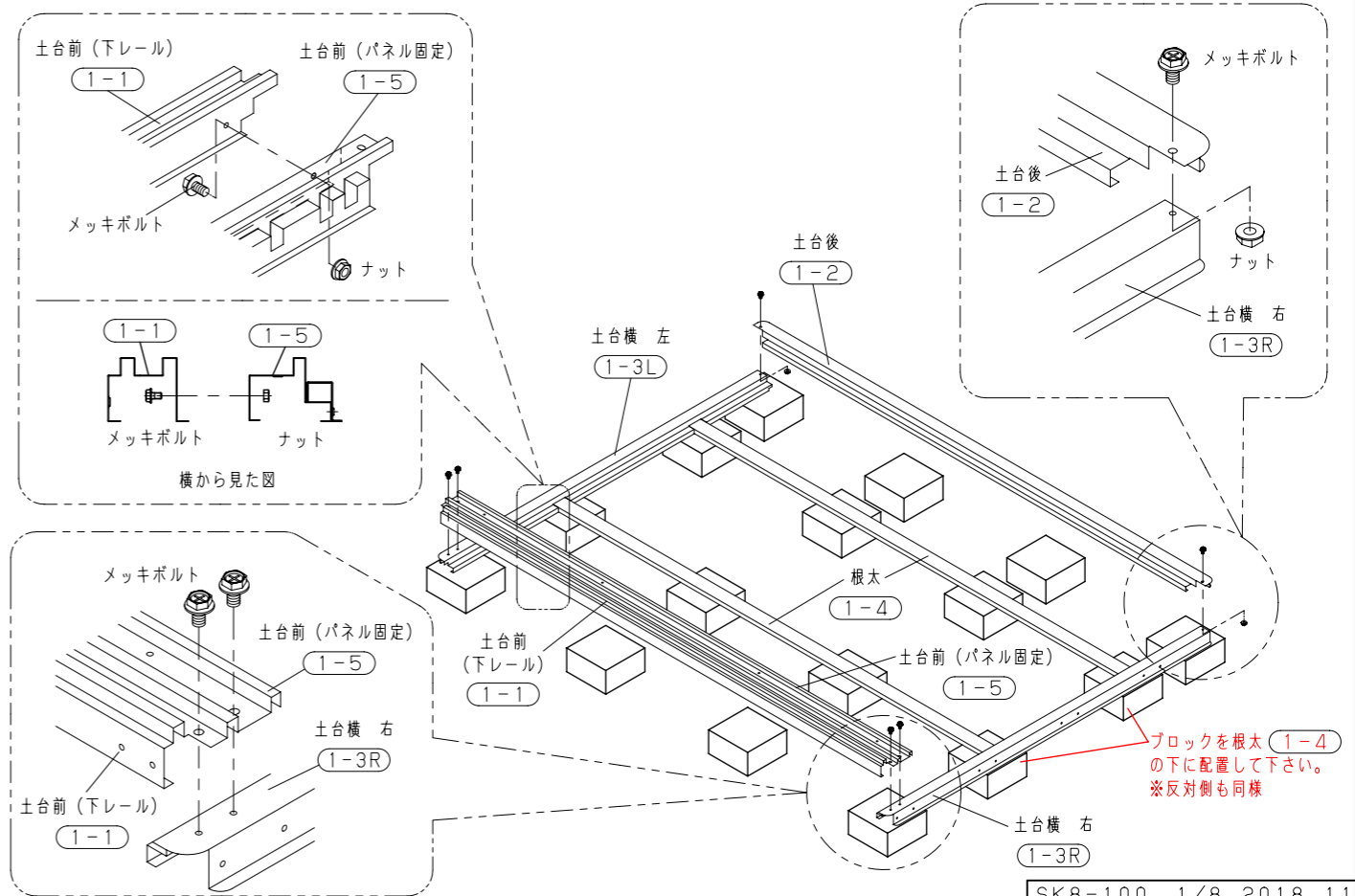
室内寸法：間口 2170mm 耐荷重
 奥行 1465mm 屋根：980N/m² (100kgf/m²)
 高さ 1780mm ※積雪約50cmに相当
 開口寸法：間口 1280mm 床板：2940N/m² (300kgf/m²)
 高さ 1710mm ※上記の耐荷重は部材に対し荷物が均一かつ
 静かに積載された場合の値です。



- (1) 地ならしをして十分に地固めして下さい。
 ※不十分だと後の工程で、屋根と物置本体との組立に支障が出る恐れがあります。（組立説明書 4ページ目 手順9参照）
- (2) コンクリートブロックを16コ並べる。
 ※四隅以外のブロック位置は、根太の下に配置するようにして下さい。（組立説明書 1ページ目 手順2参照）



- (1) 土台前 (レール) ①-①、土台前 (パネル固定) ①-⑤ で、土台前を作る。
 (メッキボルト・ナット 各3コ)
- (2) 土台前 ①-① ①-⑤、土台後 ①-②、土台横 左 ①-③L、土台横 右 ①-③R、根太 ①-④ で枠を作る。
 (メッキボルト 6コ) (ナット 2コ)
 ※根太 ①-④ は、土台横 左 ①-③L、土台横 右 ①-③R の角穴に差し込んで下さい。
 ※四隅が直角になるように調整して下さい。（対角の長さを等しくすれば直角が出るようになります。）
- (3) 土台全体が水平になるように調整して下さい。
 ※不十分だと後の工程で、屋根と物置本体との組立に支障が出る恐れがあります。（組立説明書 4ページ目 手順9参照）

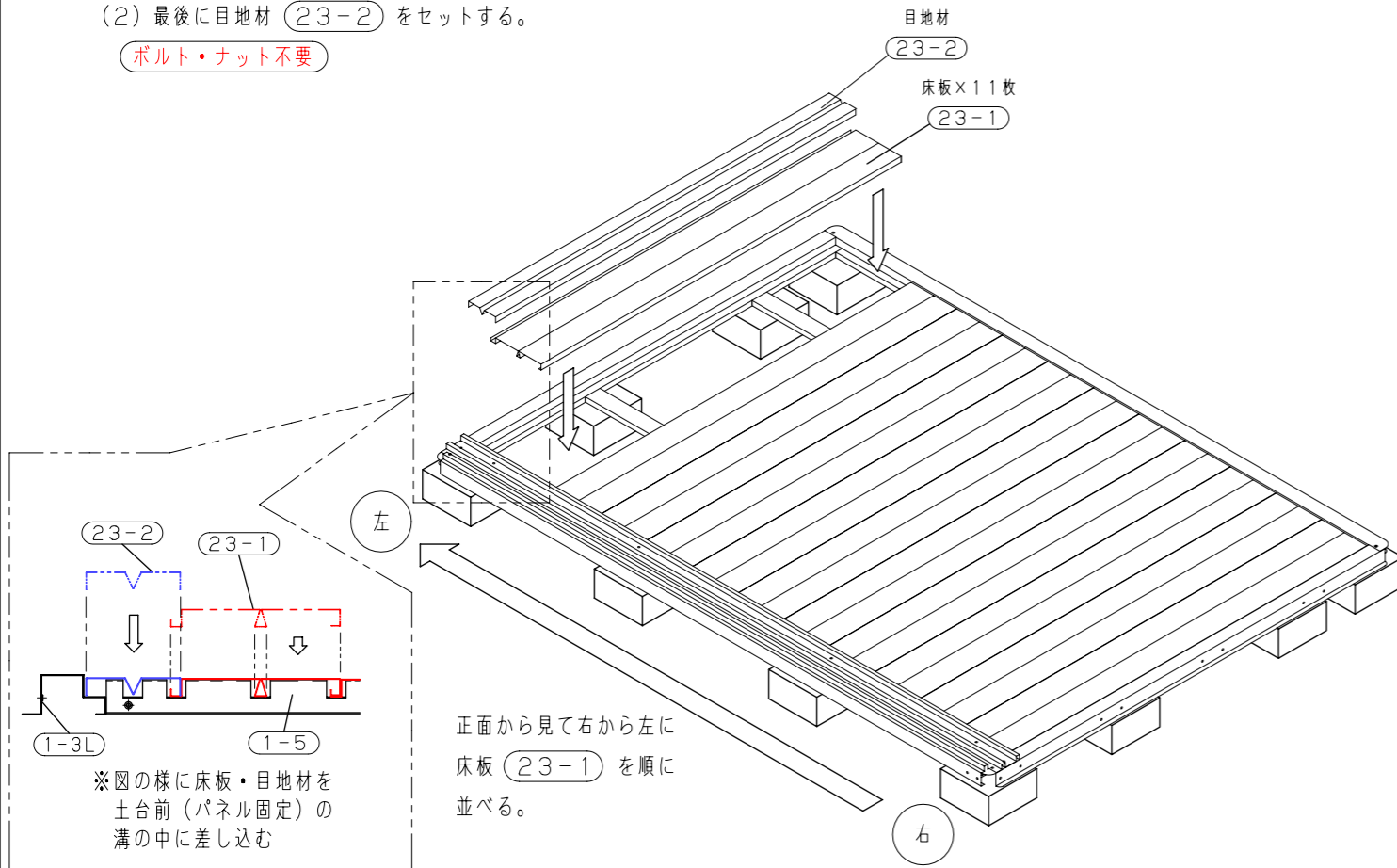


3 (1) 床板 (23-1) を土台の枠の中に11枚並べる。

ボルト・ナット不要

(2) 最後に目地材 (23-2) をセットする。

ボルト・ナット不要



正面から見て右から左に床板 (23-1) を順に並べる。

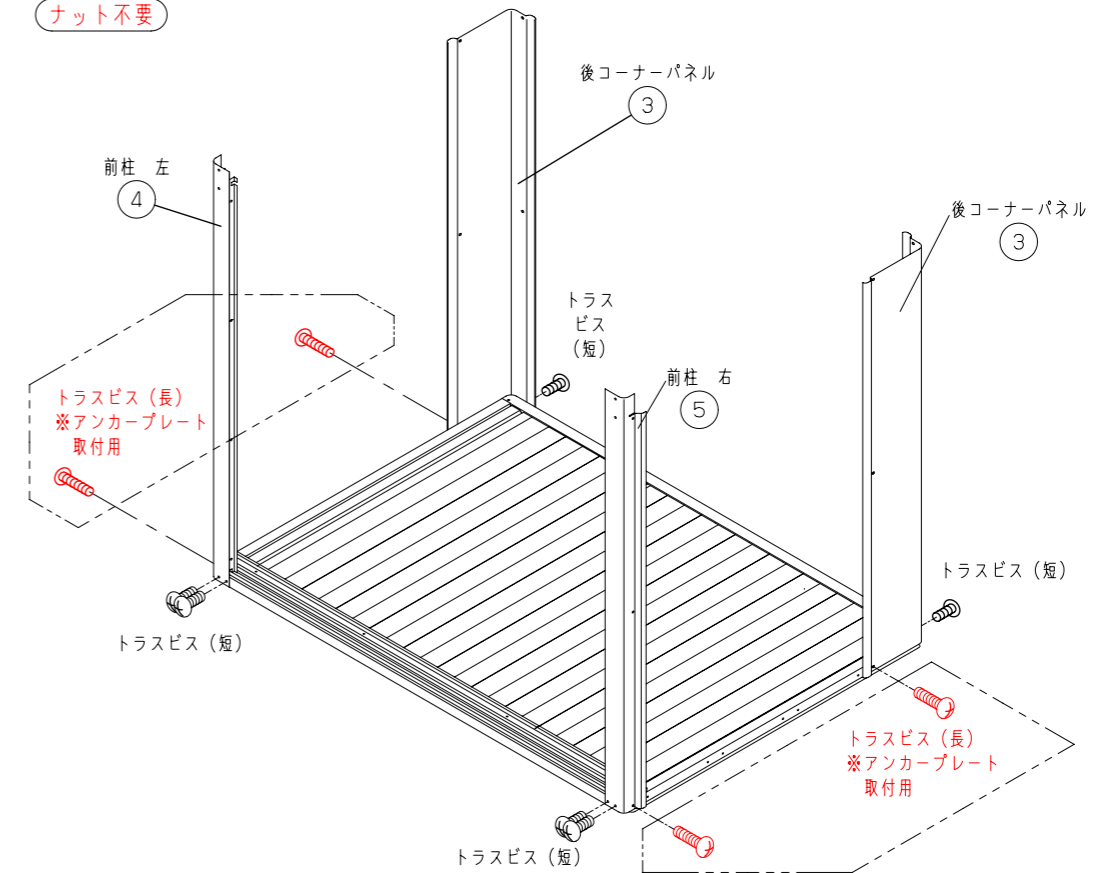
※図の様に床板・目地材を土台前 (パネル固定) の溝の中に差し込む

4 (1) 前柱 左/右 (4) (5)、後コーナーパネル (3) をそれぞれ土台の四隅に取付ける。

トラスビス (短) 6コ

トラスビス (長) 4コ

ナット不要



5 (1) 胴縁横 (15) を前柱 左 (4)、後コーナーパネル (3) の内側に取付け連結する。

トラスビス (短) 2コ ナット不要

(2) 胴縁横 (15) を前柱 右 (5)、後コーナーパネル (3) の内側に取付け連結する。

トラスビス (短) 2コ ナット不要

(3) 胴縁後 (14) を後コーナーパネル (3) の内側に取付け連結する。

トラスビス (短) 2コ ナット不要

(4) 横ランマ取付アングル 左 (7-L) を前柱 左 (4)、後コーナーパネル (3) を連結する。

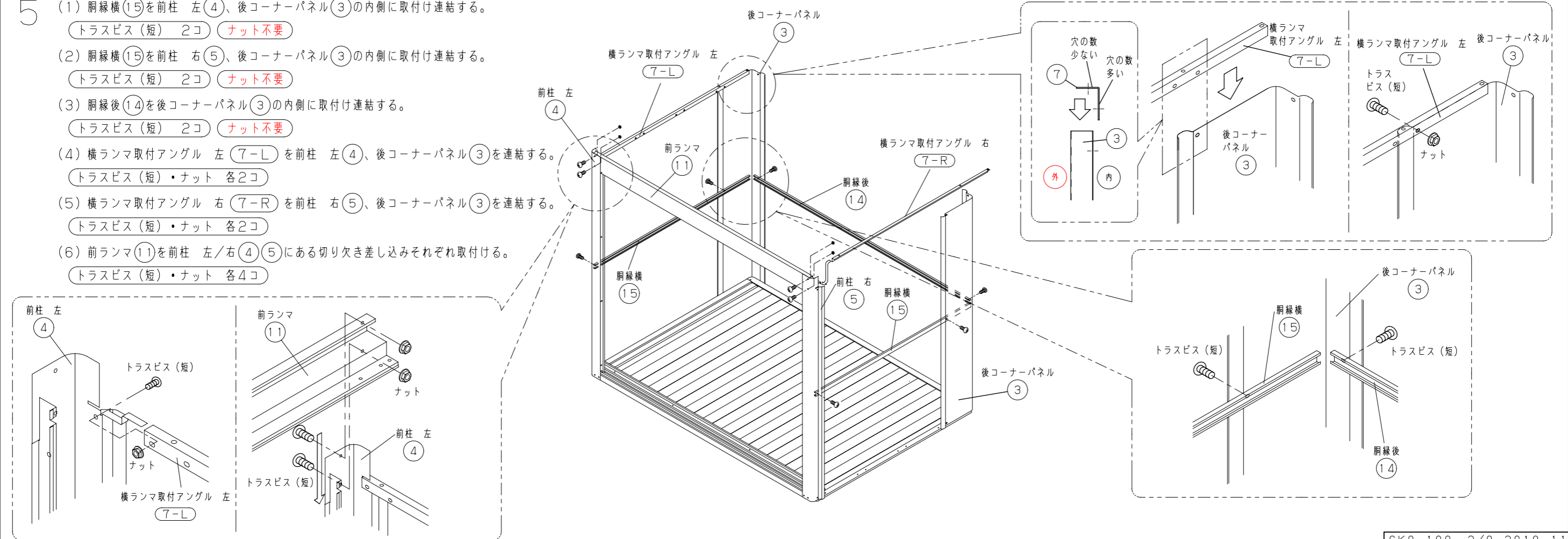
トラスビス (短) ・ナット 各2コ

(5) 横ランマ取付アングル 右 (7-R) を前柱 右 (5)、後コーナーパネル (3) を連結する。

トラスビス (短) ・ナット 各2コ

(6) 前ランマ (11) を前柱 左/右 (4) (5) にある切り欠き差し込みそれぞれ取付ける。

トラスビス (短) ・ナット 各4コ



6

(1) 標準パネル⑥を11枚取付ける。

上段：トラスビス(短)・ナット 各12コ

中段：トラスビス(短) 22コ ナット不要

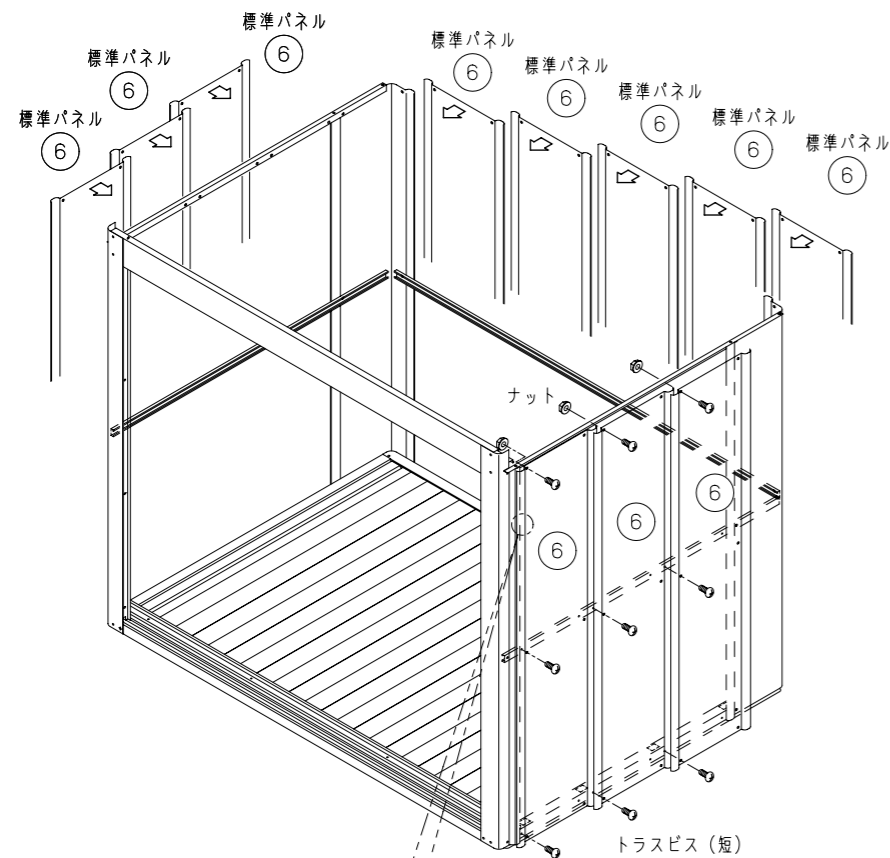
下段：トラスビス(短) 22コ ナット不要

※2枚重ねて使わないこと。

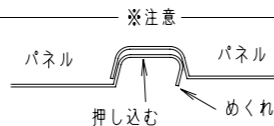
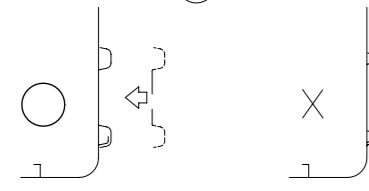
※各パネル共に凸と凸を重ねて取り付ける。

※標準パネル⑥はピッタリ重なって梱包されています。

不足した場合は取付済みのものを確認して下さい。



※前柱に標準パネル⑥をかぶせて下さい。



※パネルを取付け時に重ね目の内側がめくれている場合があります。ドライバーの握り等を使い、内側から重ね目を押し込んで下さい。※めくれたままの状態だと、ケガをするおそれがあります。

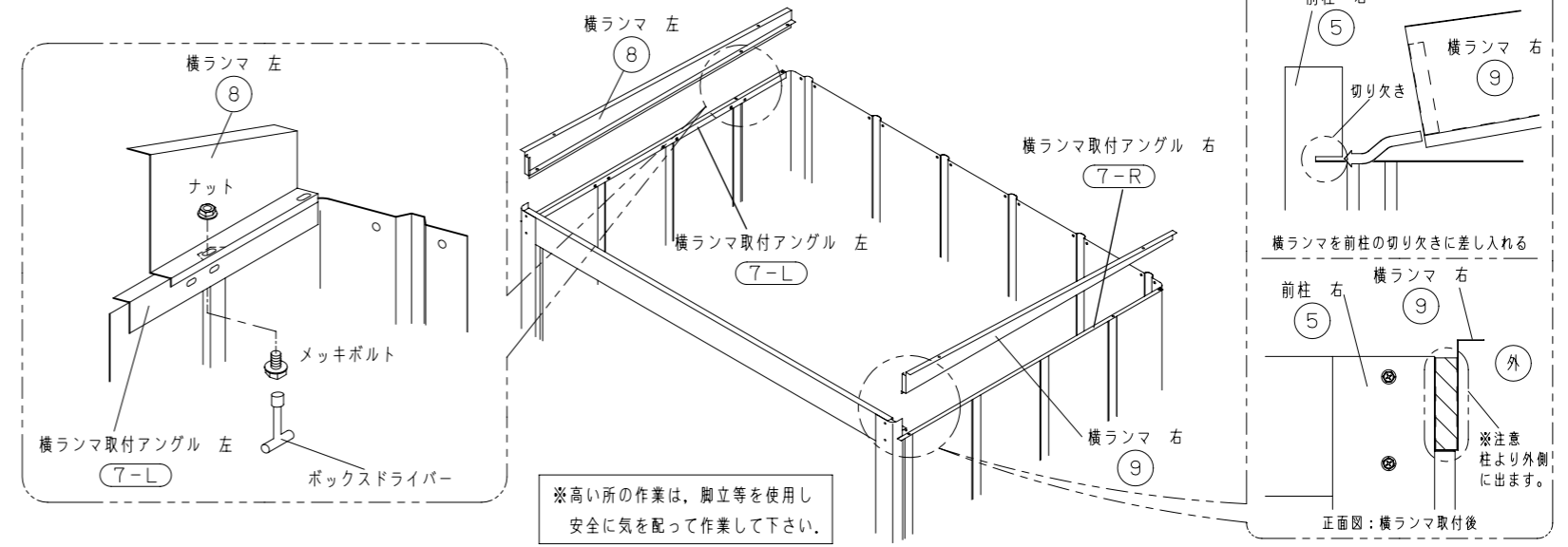
7

(1) 横ランマ 左⑧を横ランマ取付アングル 左(7-L)にかぶせるように取付、物置の内部から固定する。

メッキボルト・ナット 各2コ

(2) 横ランマ 右⑨を横ランマ取付アングル 右(7-R)にかぶせるように取付、物置の内部から固定する。

メッキボルト・ナット 各2コ

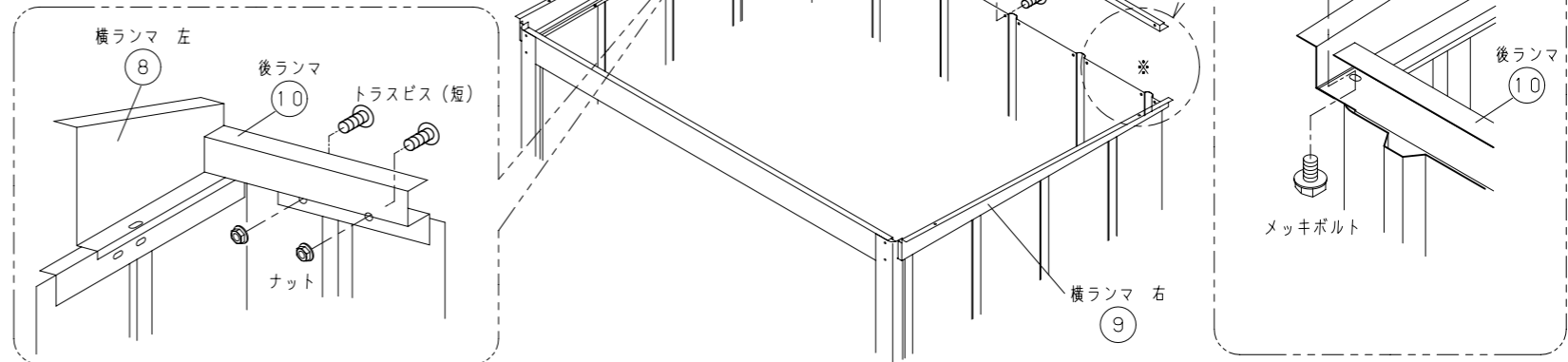


(3) 後ランマ⑩を後方パネル内側上部に取り付ける。

トラスビス(短)・ナット 各12コ

(4) 後ランマ⑩と横ランマ 左/右⑧⑨を後方外側より固定する。(右図※印参照)

メッキボルト・ナット 各2コ



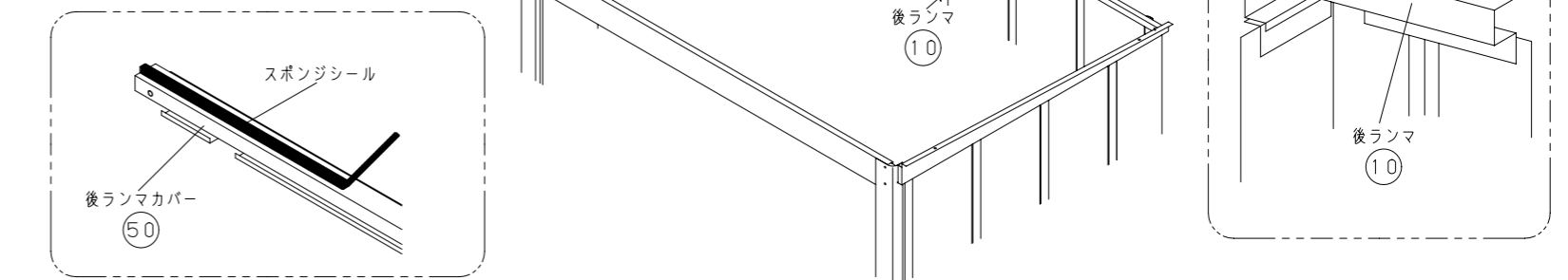
(5) 後ランマカバー⑤⑩の上部(端から端まで)にスポンジシールを貼り付ける。

※使用する際は保護紙を剥がして下さい。

※長さはテープを切って調整して下さい。

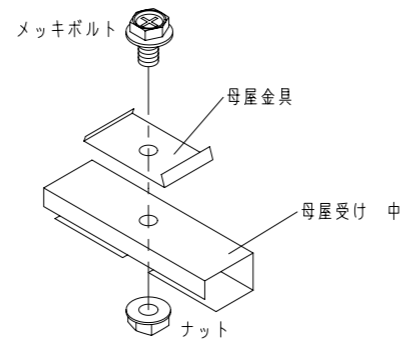
(6) 後ランマカバー⑤⑩を後ランマ⑩にかぶせるように取付ける。

メッキボルト 3コ



1 0 (1) 母屋受け 中に母屋金具を取り付ける。(2セット)

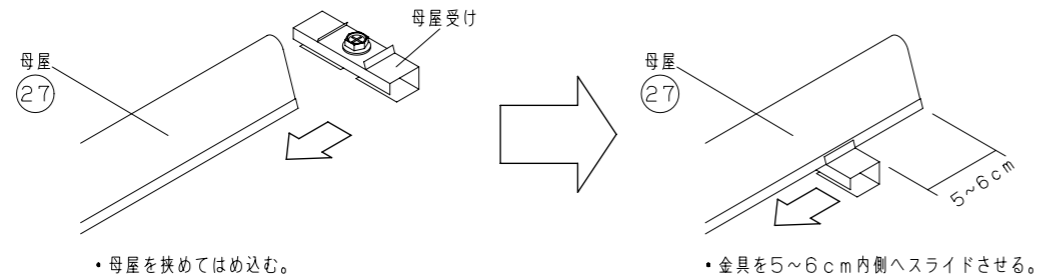
メッキボルト・ナット 各2コ



(2) 母屋(27)の両端に(1)で作成した部品をはめ込む。

※母屋のVを手で挟めて金具をはめ込み、5~6cm内側へスライドさせる。

ボルト・ナット不要

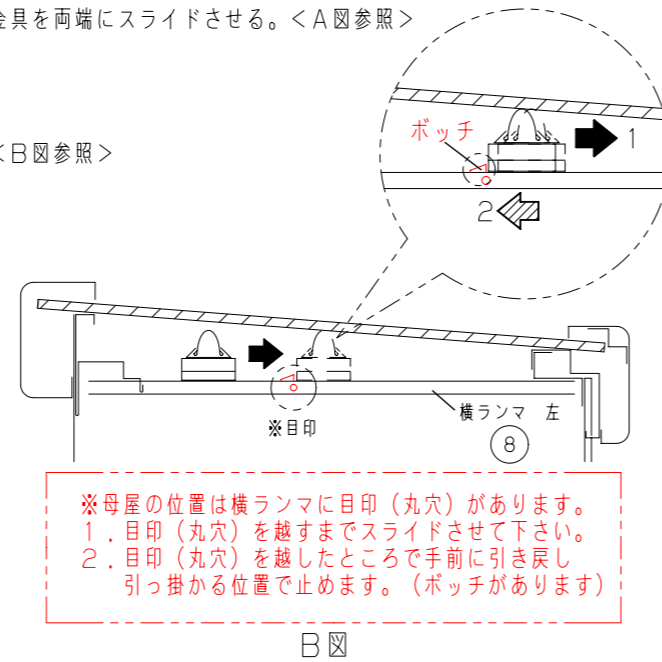
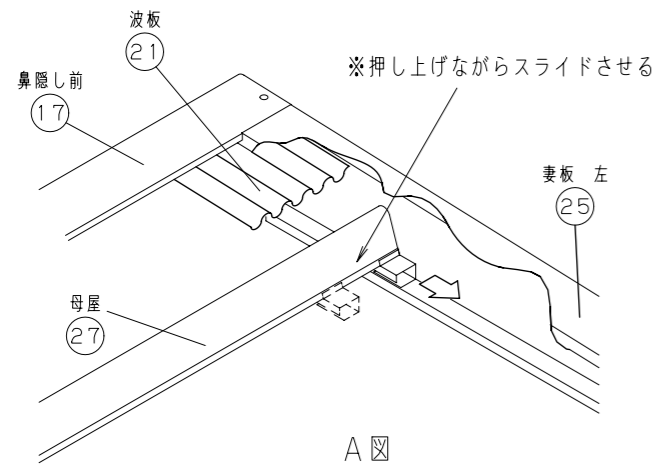


(3) 母屋(27)を屋根裏の前側にセットし、母屋(27)で屋根を押し上げながら金具を両端にスライドさせる。<A図参照>

※突き当たるまで確実に横ランマの上に乗せて下さい。

ボルト・ナット不要

(4) 母屋全体を物置の入口から奥の方向に押しながら、屋根を推して行く。<B図参照>

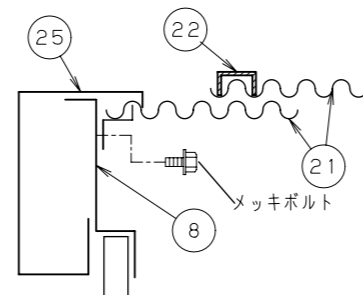
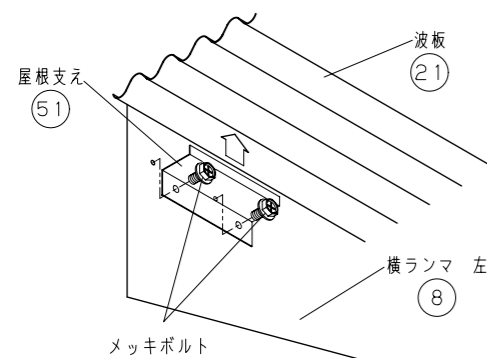


※母屋の位置は横ランマに目印(丸穴)があります。
1. 目印(丸穴)を越すまでスライドさせて下さい。
2. 目印(丸穴)を越したところで手前に引き戻し引っ掛かる位置で止めます。(ポッチがあります)

(5) 屋根支え(51)を横ランマ 左/右(8)(9)にそれぞれ取り付ける。

※屋根支えは屋根を押し上げるようにして取付けます。

メッキボルト 8コ ナット不要

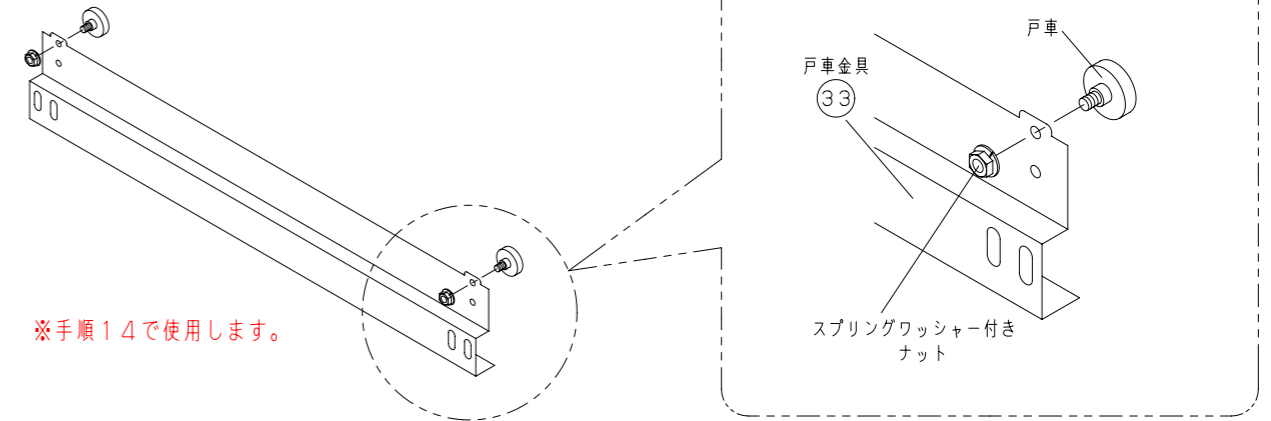


1 1 (1) 戸車金具(33)にそれぞれ戸車を取付ける。

※前扉用、後扉用それぞれ1セットずつ用意する。

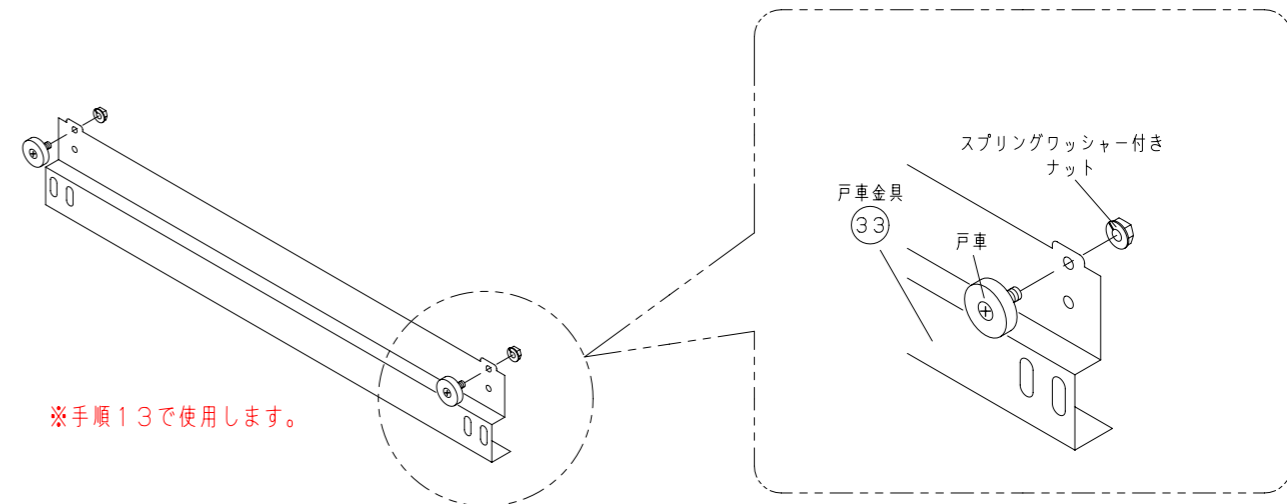
ボルト不要 スプリングワッシャー付きナット 4コ

<戸車金具 前扉用 1セット>



※手順14で使します。

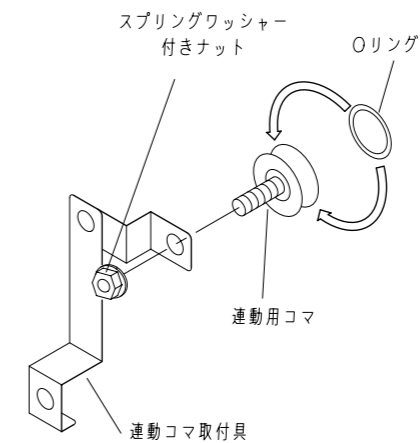
<戸車金具 後扉用 1セット>



※手順13で使します。

(2) 連動用コマにOリングをはめ、それを連動コマ取付金具に取り付ける。

ボルト不要 スプリングワッシャー付きナット 1コ

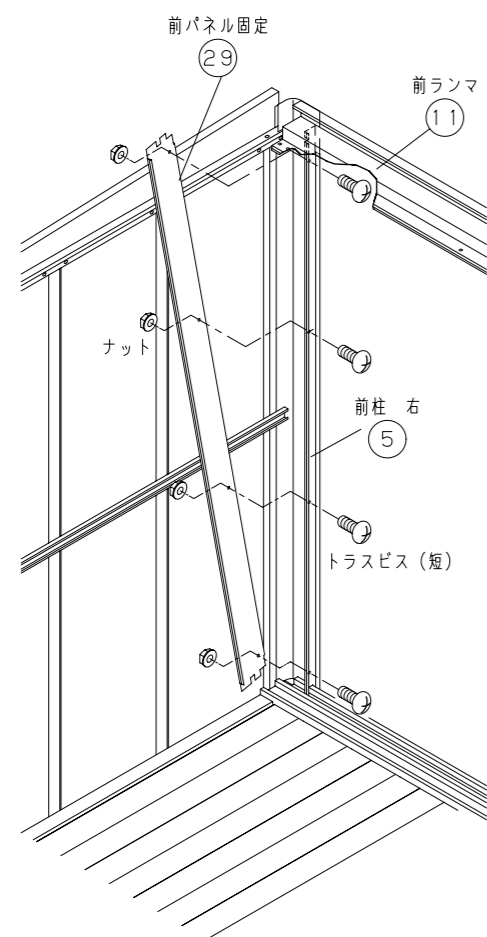
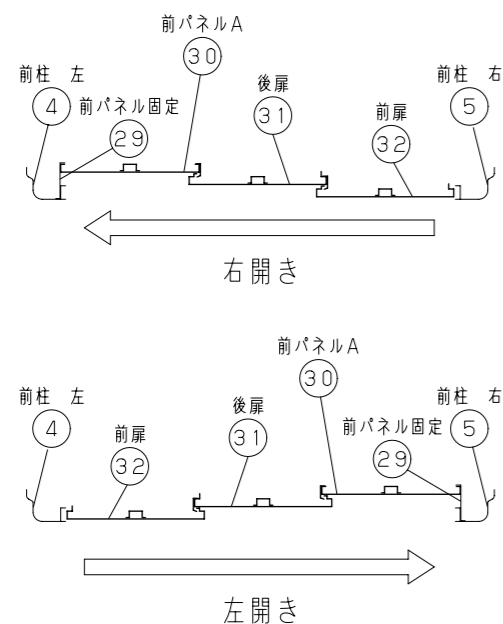


※手順15で使します。

1 2 ☆扉の右開き/左開きを選択して下さい。(本図は左開きで説明しています)

(1) 前パネル固定(29)を前柱 右(5)に取付ける。

トラスビス(短)・ナット 各4コ

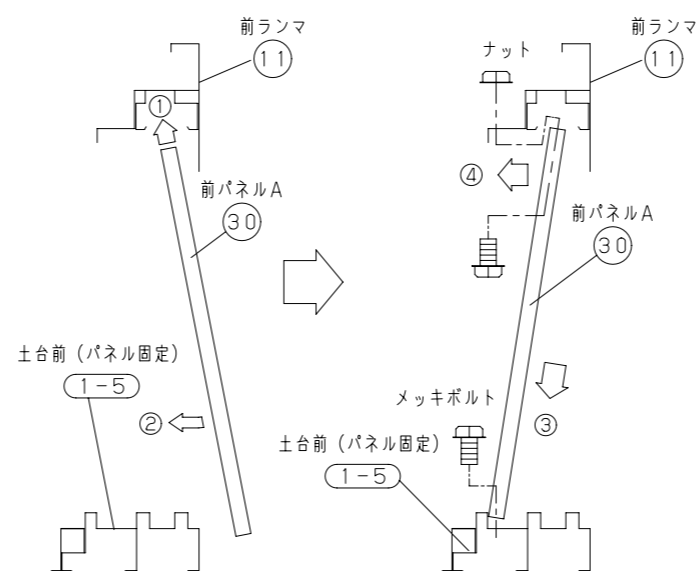


(2) 前パネルA(30)を前パネル固定(29)、前ランマ(11)、土台前(パネル固定)(1-5)に取付ける。

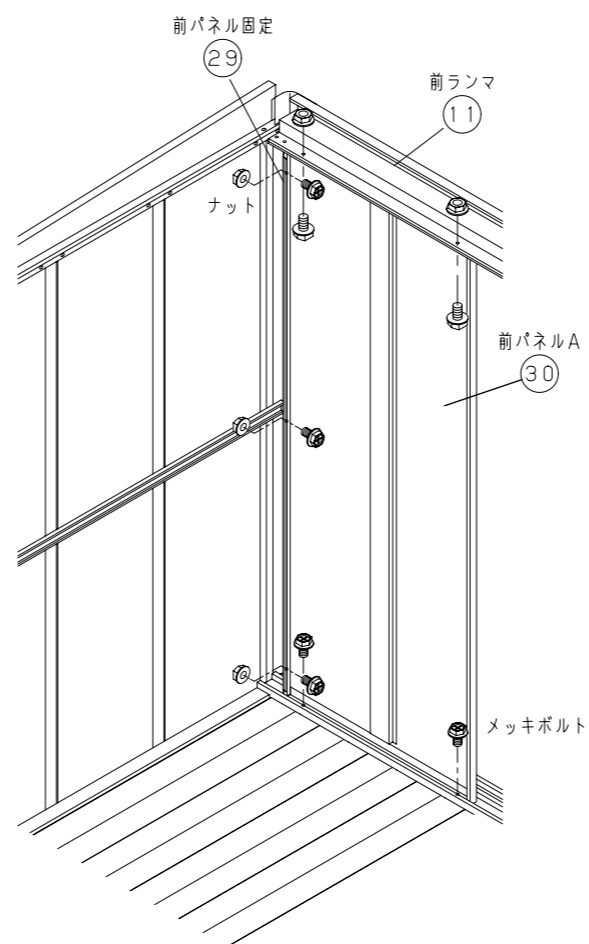
前パネル固定: メッキボルト・ナット 各3コ

前ランマ: メッキボルト・ナット 各2コ

土台前: メッキボルト 2コ ナット不要



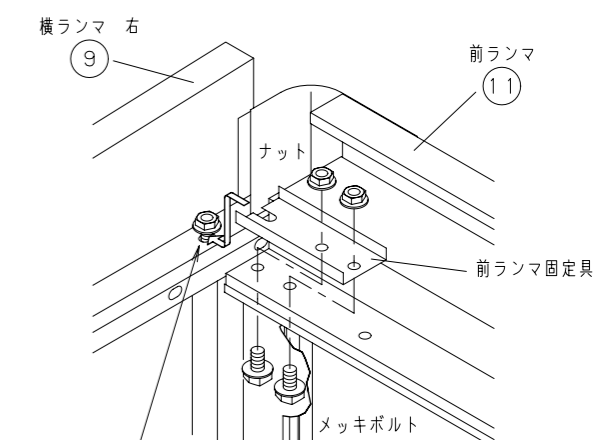
前パネルの上部を前ランマに差し込むようにして下部を土台前(前パネル固定)に合わせて下さい。



(3) 前ランマ固定具を前ランマ(11)と横ランマ 左/右(8)(9)に物置内部から取り付ける。

横ランマはボルト・ナットを一度ゆるめます。

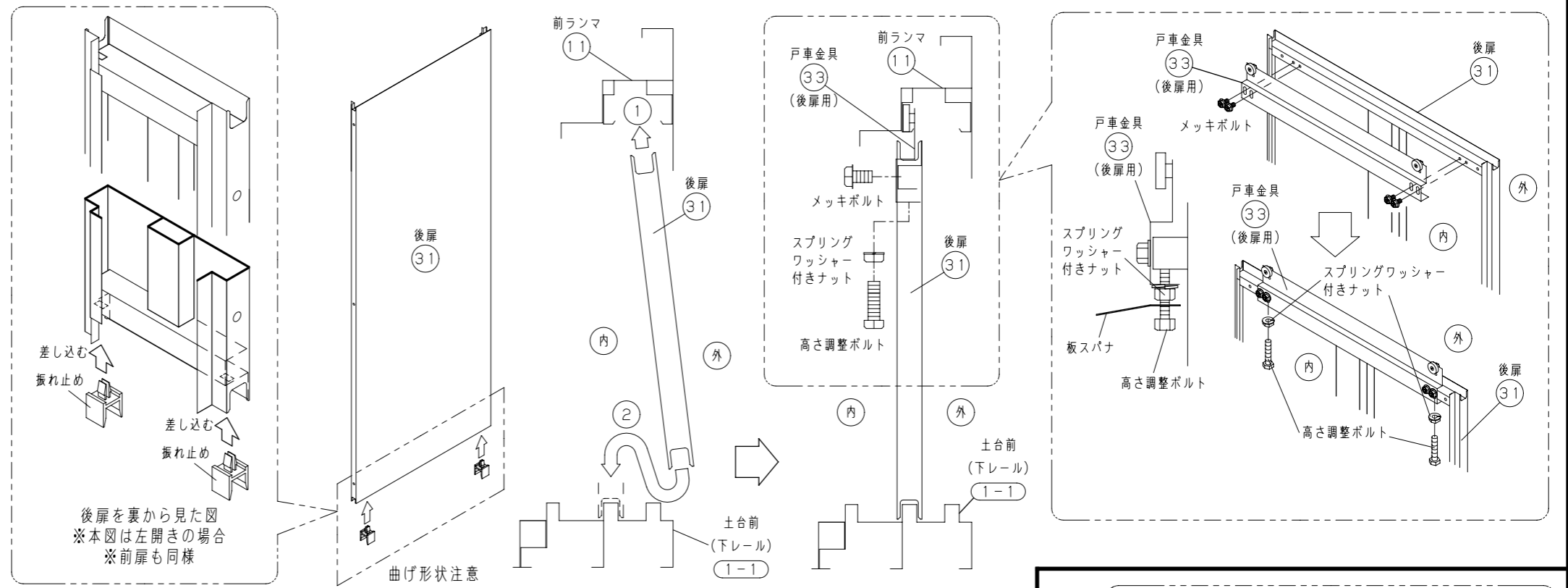
メッキボルト・ナット 各4コ



ゆるめた後に前ランマ固定具を差し込む

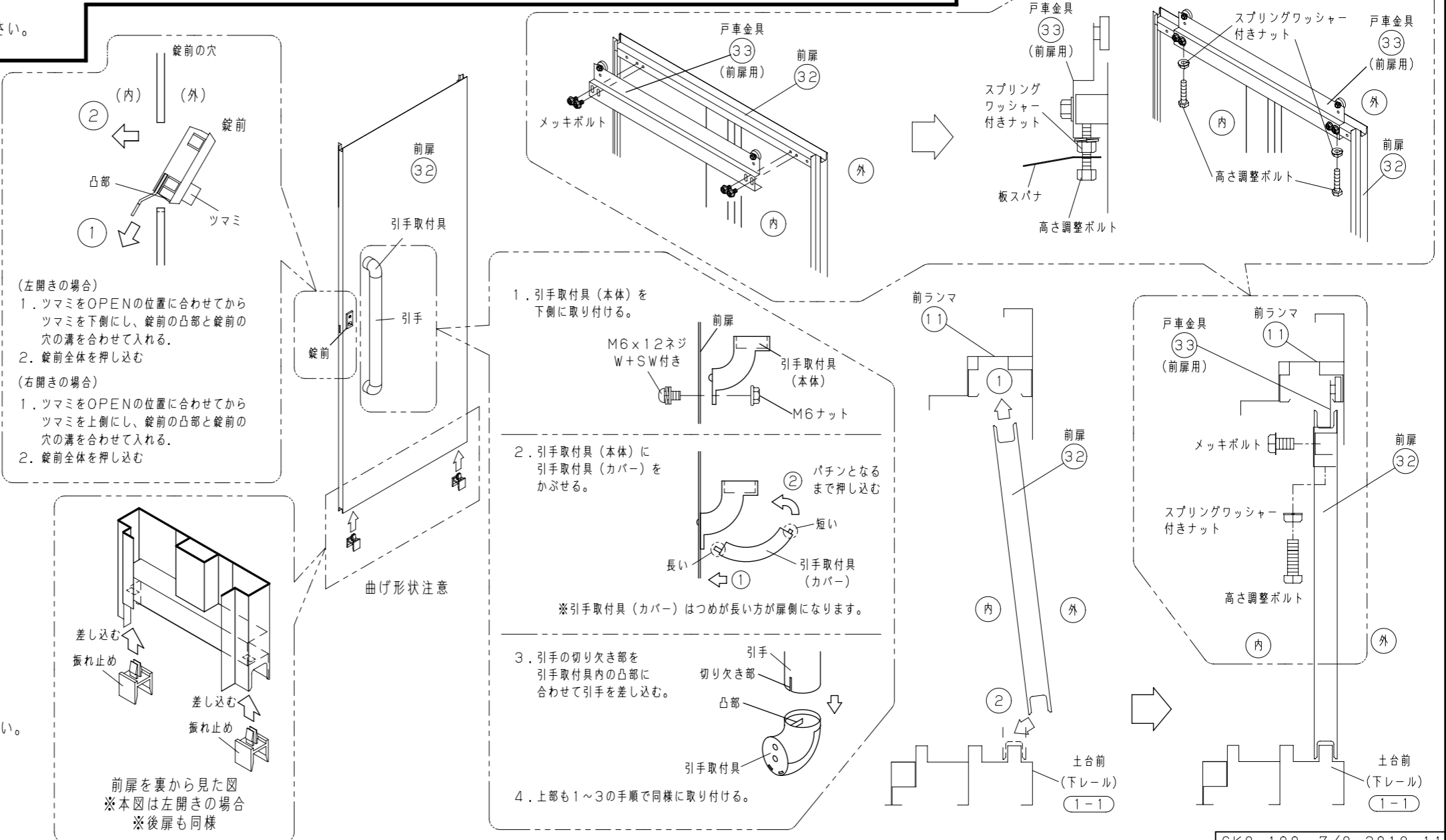
1 3 本図は左開き
扉の上下方向に注意

- 後扉(31)の下部に振れ止めを取付ける。
※振れ止めは、パチンと音がするまで押し込んで下さい。
※右開きの場合は、扉の上下が逆になります。
ボルト・ナット不要
- 後扉(31)を本体に取付ける。
後扉上部を前ランマレールの間に差し込み、後扉下部の切り欠きを土台レールの内側に差し込むように合わせる。
ボルト・ナット不要
- 戸車金具(後扉用)(33)を前ランマ(11)のレール(内側)にのせ、後扉(31)に取付けた後に扉の高さ調整をする。
メッキボルト 4コ **ナット不要**
高さ調整ボルト M6×30 2コ
スプリングワッシャー付きナット 2コ
※扉の高さ調整をする際には戸車金具に取り付けている、高さ調整ボルトで調整します。
※扉がスムーズに動くように調整して下さい。
※スプリングワッシャー付きナットは、高さ調整ボルトのゆるみ止め用です。扉調整後、戸車金具に向かって絞めて下さい。



1 4 本図は左開き
扉の上下方向に注意

- 前扉(32)に引手と錠前、扉下部に振れ止めを取付ける。
引手: **M6×12ネジ W+SW付き 2コ**
M6ナット 2コ
※振れ止めは、パチンと音がするまで押し込んで下さい。
※右開きの場合は、扉の上下が逆になります。
ボルト・ナット不要
- 前扉(32)を本体に取付ける。
前扉上部を前ランマレールの間に差し込み、前扉下部の切り欠きを土台レールの内側に差し込むように合わせる。
ボルト・ナット不要
- 戸車金具(前扉用)(33)を前ランマ(11)のレール(内側)にのせ、前扉(32)に取付けた後に扉の高さ調整をする。
メッキボルト 4コ
ナット不要
高さ調整ボルト M6×30 2コ
スプリングワッシャー付きナット 2コ
※扉の高さ調整をする際には戸車金具に取り付けている、高さ調整ボルトで調整します。
※扉がスムーズに動くように調整して下さい。
※スプリングワッシャー付きナットは、高さ調整ボルトのゆるみ止め用です。扉調整後、戸車金具に向かって絞めて下さい。



15

本図は左開き
扉の上下方向に注意

- (1) 後扉(31)に連動コマ取付金具を取り付ける。
※右開き、左開きでは連動コマ取付金具を取付ける所が
左右反対になります。

メッキボルト 1コ ナット不要

- (2) 前扉(32)に扉ガイド(34)を取付ける。
メッキボルト 2コ ナット不要

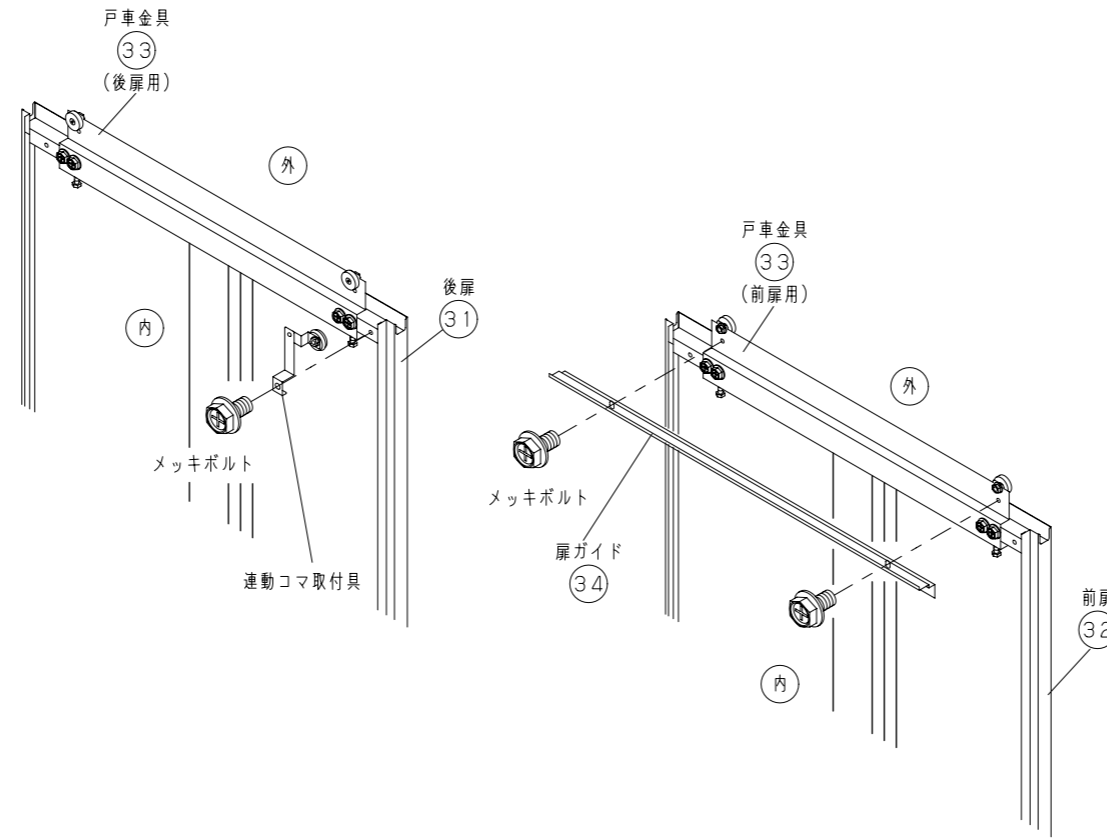
メッキボルト 2コ ナット不要

- (3) 扉ガイド(34)の高さ調整をする。
連動コマを前ランマ(11)と扉ガイド(34)の両方に触れるように
扉ガイド(34)の高さを調整して下さい。
(扉ガイド(34)を押し上げながらボルトを締める。)
※この時、扉ガイド(34)が前ランマ(11)と平行になるように
調整して下さい。

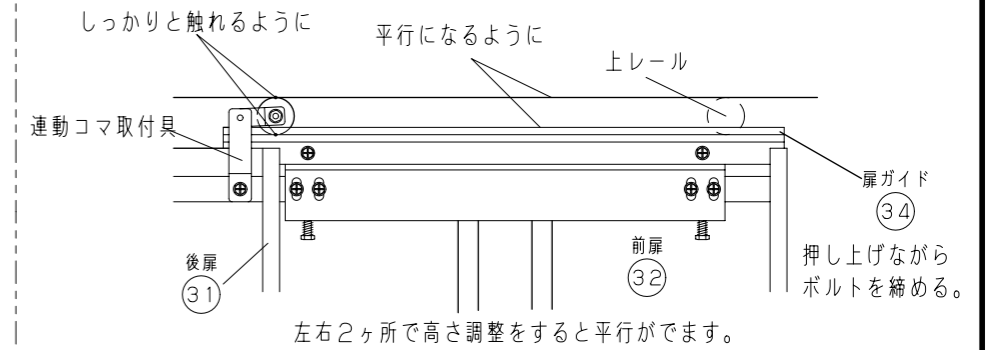
しっかりと調整しないと扉が連動しません。

又、スムーズに連動するように、連動コマへの

圧力を加減して下さい。



※調整方法



16

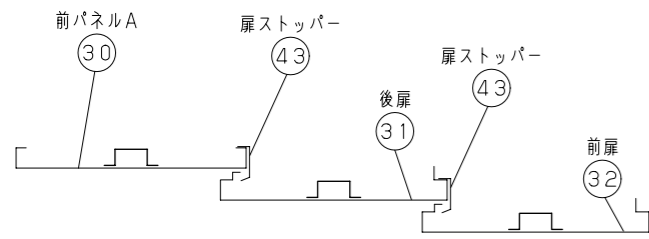
- (1) 扉ストッパー(43)を物置の内側から前パネルA(30)、後扉(31)にそれぞれ取付ける。

注：扉が半開きの位置で取り付けて下さい。

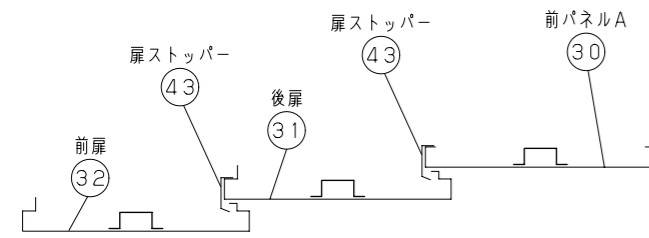
※扉ストッパーには向きがありますので、注意して下さい。

前パネルA：トラスビス(短)・ナット 各3コ

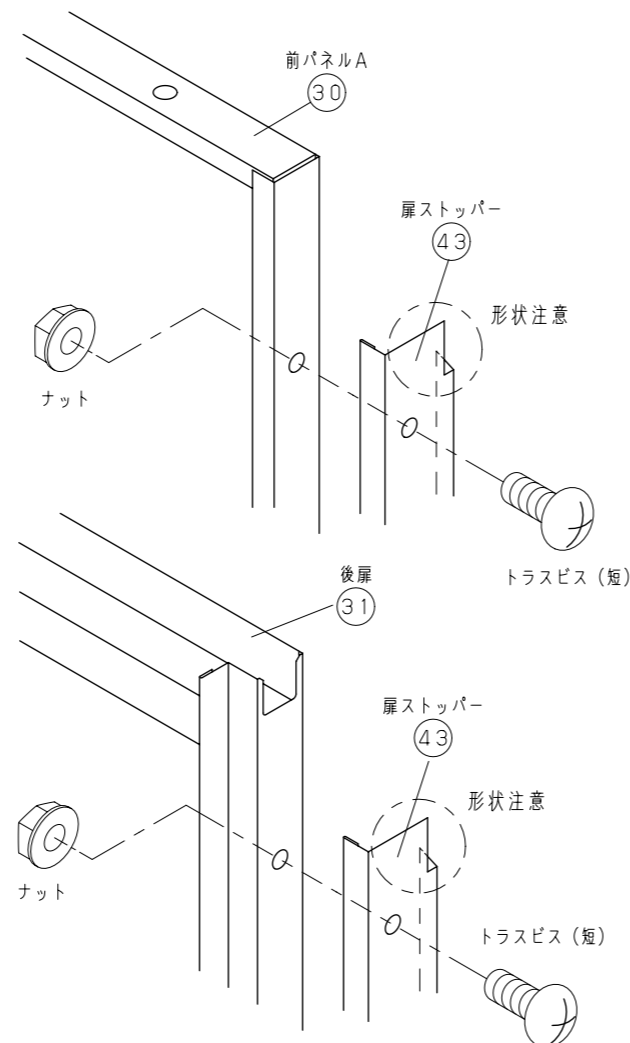
後扉：トラスビス(短)・ナット 各3コ



右開き



左開き



17

- (1) 扉を閉めた状態でスキマができる場合は、
戸車金具のボルトをゆるめ、高さ調整を
再度行って下さい。

- (2) 開口側のパネルの見やすい位置に
注意ステッカーを必ず貼り付けて下さい。

- (3) 部品の取付、ボルト・ナットの締め忘れが
ないか確認して下さい。

